まほろば秦野通信

平成３１年１月４日

<table>
<tr><td>タイトル</td><td>子供たちが無病息災、家内安全を祈り家々を回る
地域の伝統行事「あくまっぱらい」</td></tr>
<tr><td>Ｗｈａｔ
（なにを）</td><td>江戸時代から続く小正月の伝統行事「あくまっぱらい」を各地域で開催します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Ｗｈｅｎ
（いつ）

Ｗｈｅｒｅ
（どこで）

Ｗｈｏ
（だれが）

Ｈｏｗ
（どのように）</td><td>【北地区・横野】１月５日（土曜日）午前８時半集合
加羅古（からこ）神社（横野６０８）
地区の小・中学生が、最年長の大将を中心に獅子頭をかぶり、太鼓を鳴らしながら「舞い込め」の掛け声とともに、横野地区の約２００軒の家のお払いをして回ります。一時途絶えていた時期がありましたが、昭和４０年代に子ども会が再開しました。
 </td></tr>
<tr><td>【西地区・堀西】１月１２日（土曜日）　午前９時半集合
天津（あまつ）神社（堀西７６９）
波多川（はたがわ）子ども会の子ども達が獅子頭を持ち、地区の約２００軒の玄関先などを回り「あくまっぱらい」と大声で唱えます。</td></tr>
<tr><td>【上地区・菖蒲】１月１３日（日曜日）　午後３時集合
道祖神前（菖蒲９９７）
下東（しもひがし）地区の小・中学生の男子が、最年長の大将を中心に獅子頭や御幣（ごへい）を持ち、ひょっとこの仮面をかぶって、菖蒲地区の約１５０軒の家の玄関先などで「あくまっぱらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。</td></tr>
<tr><td>Ｗｈｙ
（なぜ）</td><td>「あくまっぱらい」とは、いくつかの地区に伝えられている道祖神祭りの別名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。</td></tr>
<tr><td>過去の実績</td><td>毎年小正月（１月１５日前後）に行われます。</td></tr>
<tr><td>問い合わせ</td><td>生涯学習文化振興課 文化財・市史担当　金澤
電話：０４６３（８７）９５８１</td></tr>
</table>